

【計画期間の自己評価の見かた】 ※()内は数値目標がある場合の目安
 ☆:目標以上に達成できた(100%以上)
 ◎:達成できた(80%以上)
 ○:おおむね達成できた(60~79%)
 △:達成は不十分(30~59%)
 ×:全く達成できなかった(29%以下)

資料2

第3次鳥田市健康増進計画 施策評価シート

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間 の自己評 価	課題と今後の方向性	項目番号	
1. 生活習慣病の発症予防・重症化予防	1-(1) がん	受診しやすいがん検診の実施 全国健康保険協会(協会けんぽ)の特定健康診査と検診日を合わせたり、土日曜日の検診日を設定する。	健康づくり課	がん検診事業	協会けんぽの特定健診と市の総合がん検診の同日実施	同日開催日数:69日 受診者数:8,760人	総合がん開催日数:73日(うち同日開催日:66日) 受診者数:8,366人	総合がん開催日数:75日(うち同日開催日:67日) 受診者数:8,227人	総合がん開催日数:75日(うち同日開催日:68日) 受診者数:8,439人	総合がん開催日数:75日(うち同日開催日:69日) 受診者数:8,700人	総合がん開催日数:75日(うち同日開催日:69日) 受診者数:8,104人	○	検診を受けやすい体制を整える	1	
			健康づくり課	がん検診事業	がん検診事業	がん検診の実施	開催回数:13日 受診者数:1,560人	開催回数:12日 受診者数:1,689人	開催回数:12日 受診者数:1,490人	開催回数:14日 受診者数:1,653人	開催回数:14日 受診者数:1,746人	開催回数:14日 受診者数:1,438人	○		
		がんに関する知識の普及啓発	早期発見や重症化予防に向け、がんの知識の普及を目的とした講座を実施し、意識啓発を図る。精密検診の受診啓発を図る。	健康づくり課	健康教育事業 がん検診事業	がん検診啓発キャンペーンの実施 各種説明会の実施	開催回数:1回 新規がん検診希望登録者数:50人	なし	予防講習会:1回 参加者38人のうち、新規がん検診希望登録者数:1人(登録・受診済み35人) また、ここカラダ講座にて、新規登録者数:3人	地域医療を考える会:1回 ここカラダ講座:1回	・がん検診予防講演会を1回実施 ・ここカラダ講座で2回がん検診について説明 ・FMラジオで検診について説明	◎	対面式での説明等が多いため、若い世代に関心をもちもらおうとデジタルも活用しながら検診の大切さを伝えていく。	2	
		検診結果の適切な情報管理	受診者の健康管理に役立てるため、検診結果の情報管理を行う。	健康づくり課	がん検診事業	がんの早期発見・早期治療に努める。	受診者数 胃:4,850人 肺:9,920人 大腸:10,150人 子宮:4,462人 乳:4,062人	受診者数 胃:3,866人 肺:8,739人 大腸:8,969人 子宮:4,051人 ※隔年乳:3,702人 ※隔年	受診者数 胃:3,502人 肺:8,300人 大腸:8,586人 子宮:2,618人 ※隔年乳:3,199人 ※隔年	受診者数 胃:3,401人 肺:8,292人 大腸:8,569人 子宮:2,792人 ※隔年乳:3,635人 ※隔年	受診者数 胃:3,408人 肺:8,229人 大腸:8,557人 子宮:2,703人 ※隔年乳:3,352人 ※隔年	受診者数 胃:3,021人 肺:7,794人 大腸:8,169人 子宮:3,400人 ※隔年乳:3,317人 ※隔年	○	検診受診者数の減少傾向があるため、検診を受けてほしい年代に受診勧奨を行う。	3
		精密検診受診の啓発	精密検診受診可能医療機関一覧の周知、精密検査の実施方法の解説など、受診後のフォロー体制を市と検診機関で構築する。	健康づくり課	がん検診受診勧奨事業	がん検診の結果を確認し、精密検査が必要とされた方へ受診勧奨の電話をする。	精密検査受診率 胃:90% 肺:90% 大腸:90% 子宮:90% 乳:90%	精密検査受診率 胃:76% 肺:90% 大腸:70% 子宮:100% 乳:60%	精密検査受診率 胃:78.5% 肺:94.0% 大腸:73.5% 子宮:98.2% 乳:92.7%	精密検査受診率 胃:86.4% 肺:94.3% 大腸:74.2% 子宮:94.1% 乳:96.0%	精密検査受診率 胃:86.1% 肺:89.1% 大腸:70.9% 子宮:90% 乳:93.9%	○	精検の大切さを伝え受診勧奨を行う。	4	
		がん検診受診状況などのデータ収集・分析	受診しやすい体制にするため、がん検診に関するデータの収集と分析を行う。	健康づくり課	がん検診事業	総合がん検診において予約が埋まりやすい会場、曜日等を検診委託機関に確認をし、検診実施日の調整を行う	開催回数:75日(うち土日開催日:13日) 予約枠数:10,400人	開催回数:73日(うち土日開催日:12日) 予約枠数:10,045人	開催回数:75日(うち土日開催日:12日) 予約枠数:10,250人	開催回数:75日(うち土日開催日:14日) 予約枠数:10,090人	開催回数:75日(うち土日開催日:14日) 予約枠数:10,100人	開催回数:75日(うち土日開催日:13日) 予約枠数:10,000人	○	検診を受けやすい体制を整える	5
		若い世代に向けたたしまた健康マイレージ事業の啓発	若い世代の検(健)診受診率が低いため、受診の際にボーナスポイントを付与するなどにより、健康マイレージの周知と啓発を図る。	健康づくり課	健康マイレージ推進事業	若い世代が集まるイベントに参加し、マイレージのPR及び母子健診時にマイレージのパンフレットを配布した。	年代別応募者数 20代:50人 30代:70人 40代:70人	年代別応募者数 20代:11人 30代:32人 40代:33人	年代別応募者数 20代:11人 30代:32人 40代:33人	年代別応募者数 20代:10人 30代:28人 40代:29人	年代別応募者数 20代:4人 30代:29人 40代:26人	年代別応募者数 20代:5人 30代:30人 40代:26人 令和6年2月にデジタル化。	○	年度途中でデジタル化した。今後も若い世代の応募を増やしていく。	6
	健康経営に取り組み企業への支援と連携	検(健)診や生活習慣病についての情報を発信するなど、事業所の健康課題対策や健康づくりに協力していく。	健康づくり課	健康マイレージ推進事業	事業所における健康課題対策や健康づくりへの協力の一環として、会社ぐるみで健康マイレージ事業に参加してもらい、従業員達の健康への関心を高めていく。事業所には、市のイベントへの積極的参加や抽選特典賞品の提供等について協力を依頼する。	連携事業所数:5	連携事業所数:1	連携事業所数:1	連携事業所数:1	連携事業所:12	連携事業所:2 ①ティーツー株式会社で生活習慣病予防、健康マイレージの講話と計測をした。②明治安田生命保険相互会社にアンバサダー養成講座をすすめ、社員に受講してもらった。	△	連携事業所のカウントの仕方は検討。子育て支援センターはカウントしない(R5)	7	

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間 の自己評 価	課題と今後の方向性	項目番号
1-(2)(3) 循環器疾患・糖尿病	特定健康診査の実施	個別健診や集団健診をがん検診と同時に実施する。人間ドック費用の助成を行う。特定健診受診料を無料化する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定健康診査)(その他)	島田市医師会、橋原医師会、聖隷予防健診センターに委託して実施。R1年度から特定健診の自己負担を無料化した。	特定健診受診率: 60.0%	対象者数:17,302人 受診者数:6,820人 受診率:39.4%(R2.3末暫定値) ※H30年度法定報告数値:39.7%	対象者数:16,957人 受診者数:5,995人 受診率:35.4%(R3.3末暫定値) ※R1年度法定報告数値:41.6%	対象者数:16,733人 受診者数:6,594人 受診率:39.4%(R3.3末暫定値) ※R2年度法定報告数値:40.8%	対象者数:16,393人 受診者数:5,877人 受診率:35.9%(R5.3末暫定値) ※R3年度法定報告数値:41.5%	対象者数:15,351人 受診者数:5,325人 受診率:34.7%(R6.3末暫定値) ※R4年度法定報告数値:42.6%	△	事業目標は年々の向上を目指しているが、前年度暫定値よりも減少している。対象者が年々減少し、1受診者のウエイトが大きくなっているため、よりターゲットを絞った受診動員の実施により、向上を目指したい。	8
	特定保健指導(個別)の実施	指導を受けやすい時間や曜日に個別面談を実施する。必要に応じて訪問指導を行う。未治療者には受診勧奨を行う。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	健診の結果、積極的支援、動機付け支援に該当した対象者に対し、保健指導を実施。	特定保健指導実施率: 88.5%	対象者数:655人 初回面接実施数:609人 実施率:93.0%(R2.3末暫定値) ※H30年度法定報告数値:82.8%	対象者数:667人 初回面接実施数:734人 利用率:90.7%(R3.3末暫定値) ※R1年度法定報告数値:90.3%	対象者数:638人 初回面接実施数:526人 利用率:82.4%(R3.3末暫定値) ※R2年度法定報告数値:88.6%	対象者数:546人 初回面接実施数:481人 利用率:88.1%(R5.3末暫定値) ※R3年度法定報告数値:88.2%	対象者数:496人 初回面接実施数:454人 利用率:91.5%(R6.3末暫定値) ※R4年度法定報告数値:82.4%	◎	被保険者の減少により対象者が減少している。令和4年度の法定報告では実施率が低下したことから初回利用率を上げることに加え、支援途中の脱落者を防ぐ対策が必要。特に積極的支援対象者についてはICTを活用した支援方法を推進する必要性がある。	9
	保健指導(個別)の実施	特定保健指導対象者以外で、血圧、血糖、脂質などの検査項目で生活習慣病の重症化リスクの高い対象者に、電話や個別面談、訪問指導を実施する。未治療者には受診勧奨を行う。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(ヘルスアップ事業)	検査結果が基準値から逸脱し、重症化するリスク(検査数値が要医療の判定)がある者に対し、電話や訪問等による保健指導、受診勧奨を行う。さらに特に重症化のリスクが高い者に対しては受診勧奨のフォローアップを行う。	継続	保健指導実施者数:422人、うち特に重症化リスクの高い者:42人	保健指導実施者数:398人、うち特に重症化リスクの高い者(リスクレベルI)167人	保健指導実施者数:715人、うち特に重症化リスクの高い者(リスクレベルI)158人	保健指導実施者数:635人、うち特に重症化リスクの高い者(リスクレベルI)56人	保健指導実施者数:600人、うち特に重症化リスクの高い者(リスクレベルI)73人	◎	対象者の抽出、受診勧奨は適切に実施できている。一方、受診勧奨による医療機関への受診率はいまだに低い現状から電話、訪問に加えて、通知を行うなど受診勧奨の実施方法や回数を検討する。	10
	生活習慣改善指導・健康教育(集団)の実施	特定保健指導対象者や糖尿病性腎症の方に、集団で、運動・栄養・歯科の健康教育を内容とする健診結果向上セミナーを実施する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	特定保健指導対象者や糖尿病の方を対象に、集団で、運動・栄養・歯科の健康教育を内容とする健診結果向上セミナーを実施。	継続	18回、延べ230人	17回、延べ229人	18回、延べ294人	12回、延べ155人	12回、延べ178人	◎	高血圧予備群以上を対象として、高血圧症予防に内容を絞り実施している。随時尿の検査を参加前後で実施し、参加者の意識や行動変容につながるよう工夫を凝らしている。実施地区により参加状況が異なることから地区の特性を踏まえた周知方法を検討する必要性がある。	11

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間 の自己評 価	課題と今後の方向性	項目番号
1-(2)(3) 循環器疾患・糖尿病	特定健康診査の受診啓発	受診率の向上のため、医師会、薬剤師会、地区組織(保健委員、自治会等)、国保連や県、協会健保等と協力して特定健康診査PR活動を行う。	健康づくり課	保健委員協議会	診率の向上のため、保健委員等と協力して特定健康診査PR活動を行う。		ちらし配布等で普及啓発	ちらし配布等で普及啓発	ちらし配布等で普及啓発	ちらし配布等で普及啓発	普及啓発70回	☆	チラシやポスター等を活用し、引き続き実施する。保健委員研修を実施し、知識の向上を図る。	12
	特定健康診査の受診啓発を行う		国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	健診を委託する医療機関を対象に健診事業説明会を実施。あわせて各医療機関に協力依頼のため、訪問を実施。国保連と協働で商業施設等にてPR活動。健康アンバサダー養成講座や市民の集まる場にて健診のPRを実施。健康講演会の実施。	継続	健診事業説明会:1回、 病院訪問:23件、アビタでのPR活動:1回、200人、 約530人、世界糖尿病デー啓発イベント:1回、 約50人	病院訪問:23件、アビタでのPR活動:1回、 約200人、 世界糖尿病デー啓発イベント:1回、66人	依頼医療機関:25件 アビタでのPR活動:1回、 約200人 世界糖尿病デー啓発イベント:1回、93人	依頼医療機関:25件 アビタでのPR活動:1回、 約300人 世界糖尿病デー啓発イベント:1回、54人	◎	出前講座で健康講話の際に受診啓発を実施できたが、成果は不明である。	13	
	特定健康診査未受診者勧奨	国保特定健康診査未受診者に対して電話やハガキで受診勧奨する。未受診者を対象に日曜健(検)診を実施する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	国保特定健康診査未受診者に対して電話やハガキで受診勧奨。未受診者を対象に日曜健(検)診を実施。	継続	受診勧奨事業(委託): 5,000人、日曜健診(6/9 実施):311人	AIによる受診勧奨事業(委託): 11,210人、日曜健診(6/14と1/14実施): 241人	AIによる受診勧奨事業(委託): 9,059人、 日曜健診(6/13と1/23実施): 264人	AIによる受診勧奨事業(委託): 14,962人、 日曜健診(6/12と1/22実施): 227人	AIによる受診勧奨事業(委託): 8,067人、 日曜健診(6/11と1/21実施): 213人	◎	健診受診率向上のため、未受診者勧奨を行い、一定数は受診につながっていることから、今後とも対象者に合った効果的な受診勧奨をおこない、受診率向上に努める。	14
	生活習慣病の発症・重症化予防の啓発	健康講話や健康相談などで、生活習慣病の発症・重症化予防について啓発する。	健康づくり課	国民健康保険 保健事業(特定健康診査)	健診を受診しやすい体制として、土・日曜日の日程を設定し、がん検診との同時受診を実施している。	継続	51回 (うち土・日曜日実施:7 回)	67回 (うち土・日曜日実施:12 回)	69回 (うち土・日曜日実施:14 回) ※国保日曜健診分含む	71回(うち土・日曜日実施: 16回)	69回(うち土・日曜日実施: 13回)	○	検診を受けやすい体制を整える	15
	保健指導(個別)の実施(再掲)	生活保護受給者健康管理支援事業において、生活習慣病の発症・重症化予防の指導を実施する。	福祉課	生活保護被保護者健康管理支援事業	・特定健診の受診勧奨と食事指導、生活指導など	未定	特定健診受診率18.1% 指導人数 42人	特定健診受診率25.2% 指導人数 60人	特定健診受診率25.8% 指導人数 61人	特定健診受診率30.0% 指導人数 49人	特定健診受診率28.2% 指導人数 47人	☆	対象者の入れ替わりがあるため、受診率を維持できるように、新規対象者への関わりや指導を確実に行う。	16
	受診しやすい健(検)診体制の整備	医師会や健(検)診委託機関等と連携を図り、土日曜日の健診実施やがん検診との同時実施など、対象者が健診を受診しやすい体制づくりに努める。	健康づくり課	がん検診事業	協会けんぽの特定健診と市の総合がん検診の同日実施	同日開催日数:69日 受診者数:8,760人	総合がん開催日数:73日 (うち同日開催日:66日) 受診者数:8,366人	総合がん開催日数:75日 (うち同日開催日:67日) 受診者数:8,227人	総合がん開催日数:75日 (うち同日開催日:68日) 受診者数:8,439人	総合がん開催日数:75日 (うち同日開催日:69日) 受診者数:8,104人	◎	検診を受けやすい体制を整える	17	
	健康づくりを啓発する役割を担う市民の養成	地域へ健康づくりを啓発する役割を担う市民を養成し、啓発活動を支援していく。	健康づくり課	健幸マイレージ推進事業	市民の「健幸」を達成することを目的とし、必要かつ正確な情報を、健康無関心層を含めた多くの住民に、心に届く情報として伝えていく「健幸アンバサダー」を養成する。	健幸アンバサダー登録者数:800名	健幸アンバサダー登録者数:305名	健幸アンバサダー登録者数:351名	健幸アンバサダー登録者数:412名	健幸アンバサダー登録者数:456名	健幸アンバサダー登録者数:534名	◎	健康に関心のあるアンバサダーを増やし、健康情報を無関心層に発信してもらう	19
	健康経営に取り組む企業への支援と連携(再掲)	健(検)診や生活習慣病についての情報を発信するなど、事業所の健康課題対策や健康づくりに協力していく。	健康づくり課	健幸マイレージ推進事業	事業所における健康課題対策や健康づくりへの協力の一環として、会社ぐるみで健幸マイレージ事業に参加してもらい、従業員達の健幸への関心を高め、事業所には、市のイベントへの積極的参加や抽選特典賞品の提供等について協力を依頼する。	連携事業所数:5	連携事業所数:1	連携事業所数:1	連携事業所数:1	連携事業所:12	◎	連携事業所の数が増え、健康経営の推進に貢献している。	20	

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間 の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号
1-(3) 循環器 疾患・糖尿病	島田市の糖尿病 性腎症重症化予 防施策の推進	島田市糖尿病性腎症重症化予防推進委員 会、糖尿病性腎症重症化予防セミナーを開 催する。糖尿病性腎症の早期発見と保健指 導、糖尿病性腎症重症化予防プログラム、 糖尿病の治療戦略を考える会を実施する。 CKD 病診連携体制を構築する。	国保年金課	国民健康保険 保健 事業(ヘルスアップ事 業)	データヘルス計画に基 づき、糖尿病性腎症重 症化予防プログラムを 推進する。	糖尿病2～3期の人の うち、プログラム参加率 30%	島田市糖尿病性腎症重 症化予防推進委員会:1 回、糖尿病性腎症重 症化予防セミナー:1ク ール3回 延べ参加者数 123人、糖尿病性腎症 重症化予防プログラム 参加者:16人、CKD病 診連携:10人	島田市糖尿病性腎症重 症化予防推進委員会:2 回、糖尿病性腎症重 症化予防セミナー:3回×2 クール 延べ参加者数 104人、糖尿病性腎症重 症化予防プログラム参加 者:15人、CKD病診連 携:3人	島田市糖尿病性腎症重 症化予防推進委員会:2 回、糖尿病性腎症重 症化予防セミナー:3回×1 クール 延べ参加者数 51人、糖尿病性腎症重 症化予防プログラム参加 者:17人、CKD病診連 携:1人	島田市糖尿病性腎症重 症化予防推進委員会:2回、 糖尿病性腎症重症化予防 セミナー:4回×1クール 延べ参加者数 89人、糖尿 病性腎症重症化予防プロ グラム参加者:16人、CKD 病診連携:1人	島田市糖尿病性腎症重 症化予防推進委員会:3 回、糖尿病性腎症重 症化予防セミナー:4回×1 クール 延べ参加者数 65人、糖尿病性腎症重 症化予防プログラム参加 者:8人、CKD及び糖尿病 病診連携:4人	◎	対象者の抽出は適切に 実施できているが、個別 プログラム及セミナーの 参加者が減少しているこ とから、事業内容を検討 するとともに、医療機関 への働きかけを強化する 必要性がある。	21
	糖尿病の発症・ 重症化予防啓発	糖尿病発症・重症化予防啓発チラシを配布 する。保健委員と協力して地区で健康教育 を実施する。	健康づくり 課	保健委員協議会	糖尿病発症・重症化予 防啓発チラシを配布す る。保健委員と協力作 りして地区で健康教育を 実施する。	継続	健康講座 21回 392人 食育講座 4回 131人 運動講座 15回 633人	健康講座 3回 155人	健康講座 3回 57人	健康講座 9回 236人	健康講座 12回 281人 普及啓発 70回	○	健康講座だけでなく様々 な方法で普及啓発を継続 していく。	22
				国保年金課	国民健康保険 保健 事業(ヘルスアップ事 業)	島田市独自の糖尿病に 関するチラシを作成し、 結果説明会等で配布す る。	継続	約1200人(特定保健指 導、尿中アルブミン検査 実施者)	約1200人(特定保健指 導、尿中アルブミン検査 実施者)	約900人(特定保健指 導、尿中アルブミン検査 実施者)	約750人(特定保健指 導、尿中アルブミン検査 実施者)	745人(特定保健指導、 尿中アルブミン検査実施 者)	○	
1-(4) COP D	様々な媒体を活 用したCOPD の情報発信	広報しまだやホームページ、FM島田など の媒体を活用して、COPDについて啓発 を行う。	健康づくり 課	生活習慣病等対策事 業	ホームページや広報での 啓発周知の継続。		なし	COPDにあわせ幼稚園・ 保育園の保護者に向け らば配布・ホームページ 更新 など	島田市内の企業にてCO PDに関する健康講座を 実施した。市ホームペ ージを随時更新し普及啓 発を行った。	島田市内の企業にてCOP Dに関する健康講座を 実施。市ホームページを 更新し普及啓発を行った。	島田市内の企業にてた ばこ関連の健康講座を 実施。医療学習会にて受 動喫煙をテーマに話し た。	○	受動喫煙を含め、たばこ に関する正しい知識の 普及を行う。	23
	世界禁煙デーに あわせたキャン ペーンの実施	世界禁煙デー、禁煙週間に、街頭広報やホ スターの掲示などで禁煙やCOPDにつ いての周知を行う。	健康づくり 課	生活習慣病等対策事 業	ホームページや広報での 啓発周知の継続。 世界禁煙デーの活動実 施。		世界禁煙デーにあわせ アピタで街頭広報を 実施。	実施なし	実施なし	LINE配信、市ホームペ ージ更新。市内数か所に ポスター掲示。	LINE配信、HP更新。 市内数か所にポスター掲 示。	◎	世界禁煙デーおよび禁煙 週間に合わせて、たばこ 関連の周知を行う。	24
	地区の健康まつ りなどでの啓発	早期発見や重症化予防のため、広い年齢層 が参加する地区のイベントなどでCOPD の啓発を行う。	健康づくり 課	生活習慣病等対策事 業	地域のまつりや健康教 育などで、COPDにつ いての情報や知識を啓 発した。	継続	3回/年 まつり参加	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし。	×	まつり等、イベントに合 わせ啓発ができるよう検 討する。	